大仙市立　西仙北中学校

夢咲かせよう　立志の丘で

学校通信

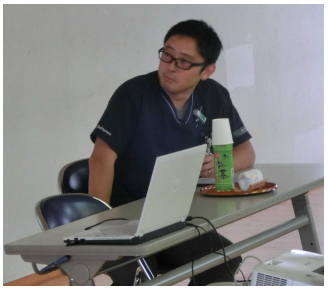
平成２６年１１月21日
No.28

秋田県がん予防授業

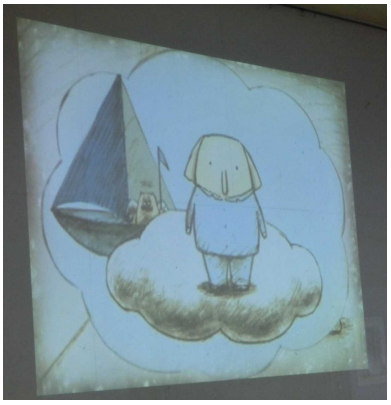
１１月12日(水)，午後からの２時間，３年生が「秋田県がん予防授業」を行いました。

講師は，大曲更生医療センター呼吸器外科科長　中川拓　先生です。

はじめに，全員で授業のあいさつをし，それから校長が講師の先生を紹介しました。



中川先生がすぐに自己紹介をされ，娘さんが桜中学校の吹奏楽部で，県大会は金賞が取れなかったという話をされたときに，本校の吹奏楽部員には大きな反応がありました。



がん予防について，ぞうさんの家族のアニメ，それからがんについての知識や情報についてのアニメを見ながら，がんに対する新しい世界が開けていきました。

アニメと先生の説明が終わってから，実際に直腸がんを体験され，手術をし，現在人工肛門を付けておられる方の体験談を聞きました。

５分間の休憩の後，今度は資料を配布され，その資料に基づいて学習が進められました。

ステップ１　最初に，自分の好きな人（大事な人）の好きなところや良いところを１枚の紙にたくさん書きます。

ステップ２　その書いた部分に×をつけます。（え～～っという声が生徒から出ました。）

×をつけた人が亡くなったら，あなたはどう思いますか？３分間目をつぶって想像してみてください。

ステップ３　あなたの大切な人が「がん」で亡くなってしまわないために，あなたは何ができるでしょうか？

このステップ３について考え，最後に４人のグループになって意見交換をします。

次の意見が相当数出ました。

・がんについて知ってもらう。
・たばこを止める。
・食生活に気をつける。
・運動を促進する。
・検診を受ける。

おもしろいところでは，「私の将来の奥さんに対して女性ががん検診を受けるのはつらそうだから『がん検診デート』を勧めます」でした。

全部終わってから質疑応答では，「私たちの世代からもがんになることはありますか？」という質問が出ました。中川先生は「とてもよい質問です。小児がんというがんがありますが，これは本日話したがんとは異なります。しかし，15歳からもがんがあることは事実です。」と回答されました。

最後に，本間紗斗さんが，代表で感謝の言葉を述べました。

「自分は，がんは恐ろしくて，怖い病気だと思っていましたが，今日の学習で，その中身を詳しく知ることができて良かったです。そして，本日帰ったら家の人に，今日のことを話し，検診を受けることや，適度な運動をすること，などについて話してみたいです。今日は本当にありがとうございました。」

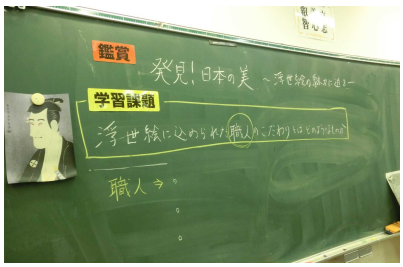
終わってから校長室で中川先生とお話をしました。本校では２年前に膵臓がんで亡くなった先生がいて，そのことをイメージした生徒も多かった，ということ，そして，このがん予防授業は，病気の学習ではあるけれども，根幹をなすものは，相手を思いやる心，家族愛や友情について考える授業なのだと，二人で納得しました。

中川先生，そして体験談を話してくれた菅様，貴重な学習をありがとうございました。

２年生　浮世絵鑑賞の時間

１１月14日(金)，国立教育政策所（文部科学省）指定　教育課程　美術の校内授業研究会が行われました。

行われたのは５時間目，２年Ｂ組ですが，４時間目に２年Ａ組でも行われました。２年Ａ組の授業に間に合うように，協力員として秋田公立美術大学の準教授　尾澤　勇　先生とその学生　野沢さんがかけつけてくれました。



尾澤先生には，本物の浮世絵を持参してもらい，その本物とコピーとどこがどのように異なるのか，という授業でした。

授業者の田中真二朗先生のお話によると，この授業は，「和菓子作り」へまでのプロセスで，日本人の美意識，感性とは何か，を探る授業の２時間

目だということです。
　１時間目　フィンランドと日本の模様について
　２時間目　浮世絵
　３時間目　ジャポニズムがヨーロッパに与えた影響
　４時間目　和菓子作り

　以上の経過をたどって，地元に根ざした和菓子制作につながります。
　協議会で生徒の活動のよさがいろいろと出されました。
　授業冒頭に，歌麿（喜多川 歌麿（きたがわ うたまろ））や菱川師宣（ひしかわもろのぶ）の名前が生徒の口からバンバン出てきました。どこで知ったの？と先生が聞いたら，社会の時間に学習しました！と元気な声が帰ってきました。
　また，授業途中には「最後の晩餐」が出て来て「これは国語で学習しました。」という声が挙がりました。
　各グループに配布された浮世絵をじっくり見て，どういう風になっているのだろう，と裏面までもしっかり確認，あまりの線の細さにビックリですが，それが，絵師，彫師，刷師の３人の人々によって行われているのだ，それも多色刷りになっているという田中先生の説明やビデオを見て，参観の教師が驚いていました。更に，２ mm の幅に，何本の線が描けるか，など浮世絵の奥深さ，精密さに触れた１時間となりました。

　本物の浮世絵につばがかからないように，全員にマスクが配布されました。参観者も口を閉じたままの鑑賞となりました。
　参観者も含め，浮世絵の新たな世界に出会った１時間でした。

校内授業研究会　理科，英語

　11月18日(火)，大仙市教育委員会の理科と英語の指導主事の先生方を指導者として，３年Ａ組は理科，１年Ａ組は英語の校内授業研究会がありました。指導者は理科が杉山剛教諭，英語が佐々木喜香教諭と芳谷由佳子教諭，ＡＬＴ（英語指導助手）のマシュウ　ホーウィッツ先生です。
　英語の授業は，世界各地の時刻について尋ねたり，応答をすることができる，がねらいでした。
”What time is it in San　Francisco.”が例文として一番最初に出てきました。それぞれシートに各国の時刻が書かれた紙が配布され，電話をしてその国の時刻を英語で答える，という活動でした。

　理科の授業は，「季節が変化するのはどうしてか？」という課題で，地球儀をモデルにして，太陽の動きを調べるという授業でした。見ている私たちにも難しい難しい問題でした。でも，生徒たちは最後まで粘り強く取り組み，解決しました。

◎　全県新人卓球大会及び全県ソフトテニス１年生大会
　11月15日(土)に行われた全県新人卓球大会個人戦は，星宮朋貴さんが1回戦3-2で勝ち，2回戦シード選手に0-3で惜敗，田口輝さんは2回戦3-2で勝ち，3回戦シード選手に0-3で惜敗でした。
　また，全県ソフトテニス１年生大会は，２組のペア佐藤愛美・加藤みなみ組(大曲仙北第３位)，京極綾香・佐々木輝蘭組（大曲仙北ベスト８）がともに1勝2敗で予選リーグ3位で，決勝トーナメント進出はありませんでした。
◎　第３４回　誠和会秋田支部空手道選手権大会
　11月16日(日)に横手市で行われた標記大会で，本校の阿部真己さんが次の栄誉に輝きましたのでお知らせします。
◇　中学生男女　形の部　優勝　阿部真己さん
　　１回戦　　５－０　で勝利
　　準決勝　４－１　で勝利
　　決　勝　５－０　で勝利，優勝！
◇　中学生男子 組手の部 第３位 阿部真己さん

12月の行事

1(月)スクールバス冬時間運行開始
2(火)国立教育政策研究所指定校「教育課程美術」公開
3(水)ＰＴＡ講演会午後２時～
4(木)秋田県学習状況調査(1・2年)，３年実力テスト
5(金)異文化交流活動(国際教養大留学生)
6(土)数研，田沢湖スポーツセンターバレーボール大会
10(水)後期中間テスト，専門委員会
11(木)校内授業研究会・家庭
16(火)職員会議
19(金)中央委員会
21(日)吹奏楽クリスマスコンサート(西仙北中央公民館)午後2時～
23(火)天皇誕生日
26(金)冬季休業～1月13日，東北バドミントン大会(弘前)～28日
31(水)大晦日